

吉賀町が消滅 . . .

先般発刊された増田寛也氏編著の図書「地方消滅」の中で、全国 896 の市町村が、2040 年（平成 52 年）時点で若年女性（20～39 歳）の減少率が 50%を超える、いわゆる「消滅可能性都市」と発表されました。また、国のまち・ひと・しごと創生本部が行った将来推計によれば、吉賀町の人口は 2015 年に 6,253 人であったものが、2060 年（平成 72 年）には約 60%減少し 2,513 人になると予測しています。

このままでは予測のとおりになってしまうでしょう。実際に吉賀町の人口はばらつきがあるものの、概ね毎年 100 人程度の減少を続けており、人口減対策が喫緊の課題であることは間違いありません。

吉賀町が消滅しないために、人口減少を克服し、いつまでも活力のある魅力的なまちであり続けるために、すべての町民が危機感を共有し、自らの問題として真摯に向き合い、吉賀町の将来に向けた取り組みを始めましょう。

◆ 目 次

1. 総合戦略の概要	2
(1) 総合戦略策定の背景	2
(2) 総合戦略策定の意義	2
(3) 総合戦略の目標年度	3
(4) 総合戦略の構成	3
(5) 総合戦略の見直し	3
2. 地方創生の実現に向けて	4
(1) 基本条件	4
(2) 基本理念	5
(3) 数値目標と基本目標	6
◆基本目標1 安心して働ける「しごと」をつくる	7
□吉賀町の魅力 ■実行施策	7～9
◆基本目標2 「結婚」「出産」「子育て」の希望をかなえる	10
□吉賀町の魅力 ■実行施策	10～12
◆基本目標3 新しい「ひとの流れ」をつくる	13
□吉賀町の魅力 ■実行施策	13～15
◆基本目標4 「協働と連携」により住みよいまちをつくる	16
□吉賀町の魅力 ■実行施策	16～18

1. 総合戦略の概要

(1) 総合戦略策定の背景

現在、我が国においては、急激な少子高齢化等により人口が減少する一方、人口移動の面では東京圏への過度な集中が続いています。こうした中で、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが喫緊の課題となっています。

国においては、これらの課題解決に向けて制定した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口の現状と将来の姿、今後めざすべき将来の方向を示した「長期ビジョン」と、これを踏まえた今後7カ年の目標や施策の基本的方向、具体的施策をまとめた「総合戦略」を策定しました。

本町においても、主に県内の他市町や広島県・山口県への人口流出と急激な少子高齢化による人口減少問題は、町の存続を左右する重大な問題となっています。

そこで吉賀町では、この問題に的確に対応して、地域独自の資源を効果的に活かし、活力あるまちづくりを行うとともに、住民の知恵と力で持続可能な地域社会を実現するため、吉賀町版「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定しました。

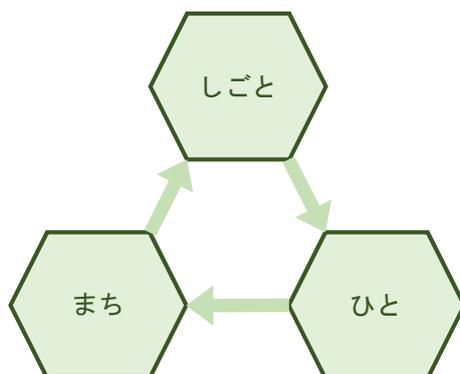
(2) 総合戦略策定の意義

本町は、まちづくりの指針である吉賀町まちづくり計画の中で「自然の恵みに育まれ、人と共に生きる自立発展のまち」を将来像として掲げています。

これを実現するには、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある吉賀町であり続けることが必須となります。そのためには、安心して働けるしごとをつくり、良好な子育て環境をつくり、転入・回帰・定住といった新しいひとの流れをつくらなければなりません。その結果、地域を担う人財を確保し、人口減少に対応しながら魅力ある地域社会（まち）を維持・形成することが可能となります。

加えて、まちの魅力が増すことで、さらに新しいしごと・ひと・まちの連携が生まれ、良好な循環を可能にしていきます。

「しごと」「ひと」「まち」の好循環



(3) 総合戦略の目標年度

総合戦略では、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある吉賀町を実現していくため、今後7カ年（平成27年度～令和3年度）の目標や具体的施策の内容を示します。

(4) 総合戦略の構成

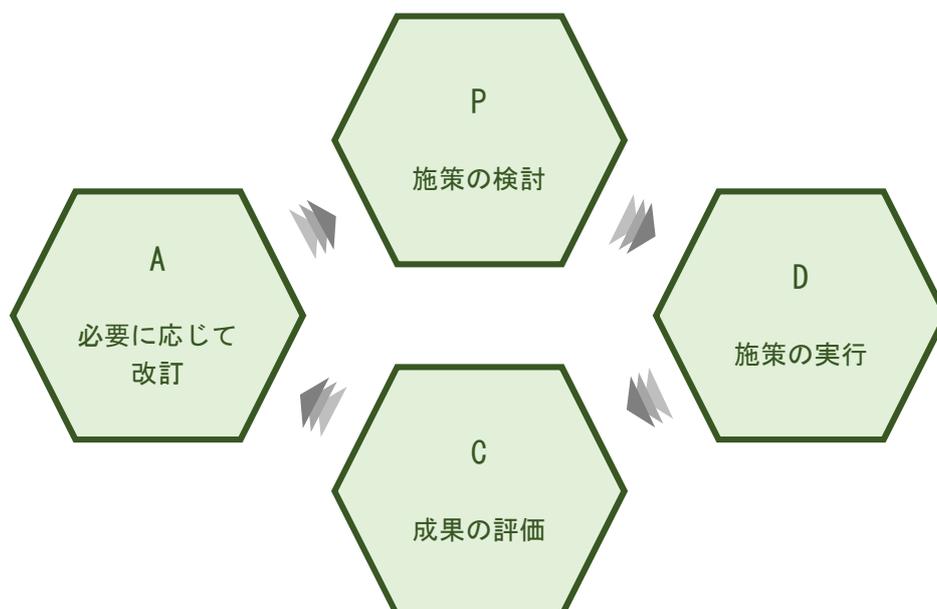
総合戦略は、活力あるまちを実現するための【基本条件】、【基本理念】、【数値目標と基本目標】から構成されます。

それぞれの基本目標において、「吉賀町の魅力」及び実現のための「実行施策」を、また7年の間に、基本目標分野がどれだけ達成されつつあるか、施策の実行を見守るとともに、改善や他施策への転換の目安として「重要業績評価指標」を示します。

(5) 総合戦略の見直し

総合戦略の前段で検討した人口ビジョンでは、今から45年後の推計値を、子どもを産み育てるための施策、転入・回帰・定住するための施策が、それぞれの効果を発揮した場合の目標値として設定しています。

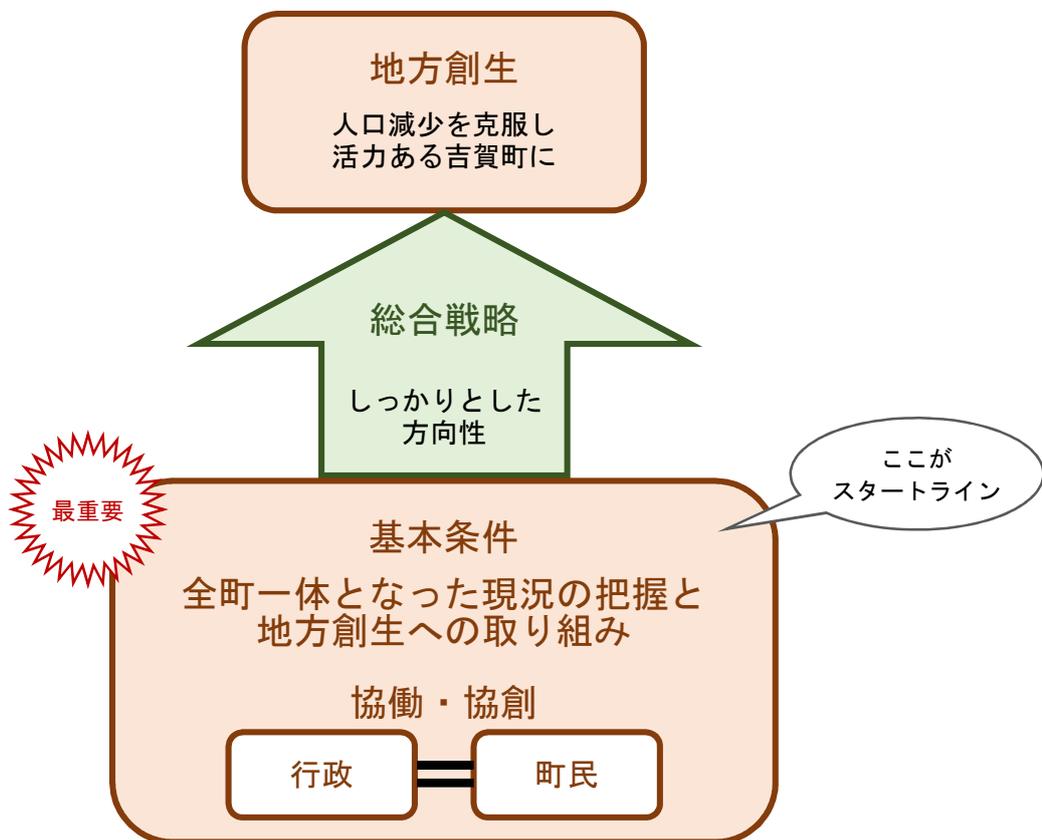
総合戦略は、この目標値実現のための7年間の取り組みであるため、毎年PDCAサイクルに基づき、「施策の検討（P）」→「施策の実行（D）」→「成果の評価（C）」を行い、「必要に応じて改訂（A）」していきます。



2. 地方創生の実現に向けて

(1) 基本条件：全町一体となった現況の把握と地方創生への取り組み

現在、全国の各自治体では、人口減少を克服し活力あるまちを実現するために、行政と住民が協働・協創により知恵を出し合い、地方版「人口ビジョン」「総合戦略」の策定を行っています。このような状況の中、活力ある吉賀町を実現するためには、行政及び町民の全員が一体となって現在の状況を正確に把握し、しっかりと足並みを揃えて地方創生に取り組むことが最重要であり、必要最低限の基本条件であると言えます。これからまちが進むべき方向性をしっかりと定め、全町一体となってその方向に向かって、協働・協創を行っていく体制ができてはじめて、人口減少を克服し地方創生を実現するスタートラインに立つことになります。



(2) 基本理念

吉賀町は、地方創生を実現するために、基本理念を定めて目指す方向を明確にし、全町一体となってさまざまな課題に取り組んでいきます。

基本理念

子どもを育み、子どもと共に発展する まちを目指して

本町がこれまでこだわってきたのは、全国に先駆けた子育て支援制度を見ても分かるように「子ども」です。これは、「子ども」を大切に考えてきた本町の歴史であり、この理念はこれからも変わることはありません。「子ども」の声には、知らず知らずのうちに大人の心を癒し、希望と勇気を与えてくれる不思議な力があります。吉賀町は、町中が「子ども」の声であふれる活力ある町を目指していきます。

まちづくりの中心に「子ども」をおき、「子ども」が安心して生活できる家庭環境、生活環境、社会環境を整備していきます。

(3) 数値目標と基本目標

吉賀町は、地方創生を実現するために次のとおり数値目標を定め、その実現に向け4つの基本目標を掲げ取り組んでいきます。

数値目標（1年あたり）

合計特殊出生率 0.0166 上昇※

社会増減 10.4 人増※

【吉賀町人口ビジョンより】

※合計特殊出生率は、吉賀町の近年の傾向から読み取った上昇率0.0138（年）が20%上昇すると仮定したものの。

※社会増減は、平成24年以降の改善傾向から読み取った社会増減の増加8.67人（年）が20%上昇すると仮定したものの。

◆基本目標1 安心して働ける「しごと」をつくる

子どもを育てるには、親が安心して働ける環境が重要です。地域産業の振興や既存企業支援はもとより、6次産業化の推進や新規の企業立地に取り組み、雇用の確保・拡大を図ります。

◆基本目標2 「結婚」「出産」「子育て」の希望をかなえる

結婚への支援や結婚したくなるような環境づくりにより未婚者を減少させ、子どもが生まれる環境を整えます。特に、未婚率で県平均を上回っている男性には、積極的な取組みが必要です。そして授かった命を、町民みんなで育てていきます。

◆基本目標3 新しい「ひとの流れ」をつくる

恵まれた自然環境、有機農業に息づく健康志向、充実した子育て支援制度や子育て環境により、健康的な生活を目指す家族を呼び込みます。特に、子育て世代のUIターンに向け、情報発信と受け入れ体制の強化を図ります。

◆基本目標4 「協働と連携」により住みよいまちをつくる

子どもはもちろん、誰もがいきいきと暮らせるまちを目指し、子どもの声が響き渡る地域づくりを行い、すべての町民が活力に満ちて過ごせる吉賀町をつくり出します。

基本目標 1 安心して働ける「しごと」をつくる

安心して働ける「しごと」をつくる観点で、吉賀町の魅力を考え、そこから実行施策を検討します。

□吉賀町の魅力

- 豊かな自然の恵みの中で働くことができる、美しい川や山が近い立地条件のすばらしさ。
- 地震・台風など自然災害が比較的少なく、安心・安全な職場環境。
- 高速道路のインターチェンジが町内にあり、空港や新幹線の駅、大都市広島市や山口市・岩国市などにも比較的近い、中山間地としては非常に恵まれた交通アクセス。
- 棚田米や吉賀米、30年以上の歴史を持つ有機農業、清流日本一の高津川でとれる鮎など、豊富な自然食材。
- 総面積の92%を占める豊富な森林資源。
- 町内には泉質のよい3カ所の温泉施設。
- 世界的ファッションデザイナーや日本を代表する彫刻家の出身地。
- 人と人との距離が近く、コミュニケーションが密でつきあいやすい町民気質。

■実行施策

1. 地域産業人材の育成と確保、及び起業支援

重要業績
評価指標

地域産業の新規就労者 35人（7年間合計）

- (1) 地域産業人材の育成と確保
 - よしか立志塾の実施等による担い手育成
 - ◎林業従事者の養成
- (2) 起業支援
 - ◎山林資源を活用したビジネスの創出

2. 農林水産業の振興と6次産業化の推進

重要業績
評価指標

新規商品開発 32件（7年間合計）

（1）ブランド化推進

- 農産加工の人材育成及び商品品質の向上、新規開発
- ◎米産地としてのブランド力の向上、生産・流通システムの構築
- ◎米のブランド化事業スタートに先だって HP 専用サイトの作成及び広報・周知等（「ええもん」知ってもらおうプロジェクト）
- 環境王国認定を活かした農産物や加工品の販売促進
- ◎有機茶ブランド化の推進

（2）農業振興

- 有機農業の推進（生産・流通販売・普及啓発）
- ◎米の裏作作物や地域特産物の推進
- ◎薬用作物等の生産振興
- 地域ぐるみでの鳥獣被害対策の推進

（3）林業振興

- 地域通貨券を活用した林業の活性化等（木の駅プロジェクト）
- 流域産木材を使用した新築・増築・改築・家具建具経費の一部助成
- ◎菌床しいたけの生産拡大
- 住宅用木質バイオマスストーブ及び排煙設備設置経費の一部助成

（4）地産地消の推進

- 地産地消の生産体制及び流通システムの構築

（5）青年就農者支援

- 就農初期段階の青年の新規就農者及び経営継承者への支援

（6）6次産業化の推進

- ◎6次産業化の拠点施設の活性化
- 加工事業者への販路拡大支援

（7）産業振興と6次産業化に向けて

- ◎道の駅を活用し、幅広く情報を発信
- ◎空き店舗等を産業振興に活用

3. 雇用対策

重要業績
評価指標

新規立地 10件 新規雇用 100人（7年間合計）

- (1) 雇用促進及び資格取得支援
 - ◎企業等への新規雇用促進の推進
- (2) 企業誘致促進
 - ◎事業所の新設及び増設に対する奨励金及び補助金
 - ◎県外からの企業進出希望者に対する来町交通費の一部助成
- (3) リクルート支援
 - ◎町内企業の採用情報の一元化及び町内外への情報発信

4. インフラ環境対策

重要業績
評価指標

新規立地 1件 新規雇用 10人（7年間合計）

- (1) 高速情報通信基盤整備
 - ◎企業誘致対策及び既存企業への支援を目的として超高速情報インフラの整備

基本目標 2

「結婚」「出産」「子育て」の希望をかなえる

「結婚」「出産」「子育て」の希望をかなえる観点で、吉賀町の魅力を考え、そこから実行施策を検討します。

□吉賀町の魅力

- 保育料・給食費の完全無償化、高校卒業まで医療費全額助成など、日本でも指折りの子育て環境。
- 清流日本一の高津川など豊かな自然に恵まれ、地震・台風など自然災害も比較的少ない、安心・安全な生活環境。
- 吉賀米、有機野菜、鮎など、豊富な自然食材。
- 人と人との距離が近く、コミュニケーションが密でつきあいやすい町民気質。
- 島根県や国の平均に比べ高い出生率（吉賀町人口ビジョン p16 参照）。

■実行施策

1. 結婚への支援、環境づくり

重要業績
評価指標

婚姻件数 189 件（7 年間合計）

（1）出会いの場の創出支援

- 若者の出会いの場を創出する事業の開催負担軽減と近隣市町との連携
- ◎全町規模の町コンの組織化及び定期的な開催
- ◎ハッピーコーディネーターの登録者数の増加と婚活事業の活性化

（2）企業に対する支援

- ◎社員の出会いの場創出環境づくりを推進する企業の負担軽減

2. 妊娠・出産への支援、環境づくり

重要業績 評価指標

出生数 259人（7年間合計）

（1）妊娠・出産への支援

- ◎妊娠、出産、育児、教育の各種施策をガイドブックにまとめ、町内外にPR
- 妊婦健康診査や分娩及び産後一カ月健康診査等の一部に補助金
- ◎出産祝い金の交付
- 母子保健推進員の配置による悩み相談や情報提供

（2）治療・検査に対する支援

- 保険適用の不妊治療及び検査・人工授精で一部助成
- ◎不育症と診断された場合における治療及び治療における検査で一部助成

（3）周産期医療支援

- 町外周産期医療科への通院交通費の補助

3. 子育て環境の充実・支援

重要業績 評価指標

UI ターン子育て支援事業助成金申請者数 56件（7年間合計）

（1）経済的負担の軽減

- 町内保育所の利用料、放課後保育利用料の無償化
- 小中学校給食費の無償化
- 高校卒業までの子ども医療費の全額助成
- ◎3人以上の子どもを養育する保護者への優遇措置

（2）子育て環境の充実

- 保育施設・医療施設等での一時預かり・病児保育等の各種サービスの充実
- 家庭・職場・地域全体で子育てを担うという意識の醸成と、家庭・職場・地域の子育て支援機能の充実
- ◎住宅確保などの支援により、ひとり親（保育士等の有資格者）をUIターンで確保
- ◎公園やSNS等、子育てする保護者の多面的なネットワークの整備
- ◎負担分散等のために多世代での子育てが可能な多世代同居等を推進
- 個別療育や集団療育のできる子育て環境を向上させ、障がい福祉サービスの充実を図る
- ◎生命の尊さ、家族の絆の大切さの理解を深めるため、乳児とのふれあい体験を推進
- 食育啓発を推進し、食育ボランティア活動を支援
- ◎結婚、出産、子育ての全般にわたる教育プログラムの構築及び実践

●：既存事業 ○：地方創生で拡充した事業 ◎：地方創生の新規事業

4. 住宅・住居に対する支援

重要業績
評価指標

子育て世代への持ち家取得に対する支援 35件（7年間合計）

（1）経済的負担の軽減

- 子育て世代の持ち家の取得に対する経済的負担の軽減に対する利子補給

基本目標 3 新しい「ひとの流れ」をつくる

新しい「ひとの流れ」をつくる観点で、吉賀町の魅力を考え、そこから実行施策を検討します。

□吉賀町の魅力

- 製造業、医療福祉関係を中心とした良好な雇用環境。
- 有機栽培の豊富な実績。
- 保育料・給食費の完全無償化、高校卒業まで医療費全額助成など、日本でも指折りの子育て環境。
- 豊かな自然に恵まれ、自然災害も少ない、安心・安全な生活環境。
- 吉賀米、有機野菜、鮎など、豊富な自然食材。
- 入院できる病院（六日市病院）に加え、診療所も数軒存在。ヘリポートがあり救急医療体制も整備され、比較的充実した医療環境。
- 人と人との距離が近く、コミュニケーションが密でつきあいやすい町民気質。
- 高速道路のインターチェンジが町内にあり、空港や新幹線の駅、大都市にも近い、恵まれた交通アクセス。

■実行施策

1. 来町・移住体験支援

重要業績
評価指標

移住に向けた来町者数 200組（7年間合計）

- (1) 移住希望者支援
 - ◎県外からの移住希望者に対する来町交通費の一部助成
- (2) 地域団体支援
 - ◎しまね暮らし体験プログラム等、呼び込み型事業実施団体に対する事業経費の一部助成
- (3) 組織化
 - ◎既UIターン者による組織結成

2. U I ターン促進・支援

重要業績
評価指標

U I ターン 70 組（7 年間合計）

- (1) 半農半 X 支援
 - 担い手育成・確保を目的としたU I ターン者の定住・定着に向けた就農支援
- (2) 子育て世帯支援
 - 中学生以下の子どもがいる世帯のU I ターン者に対する助成
- (3) 環境整備
 - 環境・健康に優しい有機農業の推進
 - よしか暮らし相談員設置（移住相談に関するワンストップ窓口、情報発信）
 - ◎住民側、U I ターン者側の両面からの受け入れ体制の整備
- (4) U ターン支援
 - ◎多世代同居に対するリフォーム助成等の支援
 - ◎U ターン就職者（地元就職も含む）に対する支援

3. 住宅・住居に関する支援

重要業績
評価指標

住宅の確保 280 軒（7 年間合計）

- (1) 施設建設
 - ◎長期移住体験希望者に対する滞在施設の整備
- (2) 空き家整備
 - 空き家の改修、家財等の処分に対する助成
 - 空き家を活用した移住促進住宅の改修等
 - ◎町による改修、建替、家財処分等の費用の立替

4. 教育環境づくり

重要業績
評価指標

UIターン児童生徒 140人（7年間合計）

（1）教育移住の受け入れ

○恵まれた自然環境と教育環境（小規模校ならではの細やかな対応など）の魅力のPRにより、入学者の増加を図る

（2）確かな学力の育成

○学校・家庭・地域の連携型公営塾の開設

（3）吉賀高校魅力化支援

○町内唯一の高校の魅力化に対する支援

5. 交通支援

重要業績
評価指標

吉賀町菘・石見空港利用促進補助金利用者 年間 315人

（1）交通支援

◎町外への通勤・通学者に対する交通費の助成

○町外施設（医療・文化・娯楽等）利用時の交通費助成または輸送手段の確保

6. PR

重要業績
評価指標

ふるさと納税件数 20,000千円（令和3年度時点）

（1）PR

○豊かな自然・歴史・文化の魅力について再認識・再構築し、町の魅力とともに実施している施策を、町内・町外を問わず広く情報発信

基本目標 4

「協働と連携」により住みよいまちをつくる

「協働と連携」により住みよいまちをつくる観点で、吉賀町の魅力を考え、そこから実行施策を検討します。

□吉賀町の魅力

- 高速道路のインターチェンジが町内にあり、空港や新幹線の駅、大都市にも近い、恵まれた交通アクセス。
- 人と人との距離が近く、コミュニケーションが密でつきあいやすい町民気質。
- ヘリポートを使った救急医療体制の整備など、他地域との連携実績。

■実行施策

1. 公共交通支援

重要業績
評価指標

公共交通利用者 32,300人（令和3年度時点）

（1）地域交通支援

- 生活バス路線維持に対する経費の助成
- 地域内公共交通の整備

（2）広域交通対策

- 萩・石見空港往復便利利用による助成
- 萩・石見空港利用拡大に向けた取り組み

2. 地域医療支援

重要業績
評価指標

有資格者の確保 140人（7年間合計）

（1）担い手確保

- 町内の病院において常勤の医師、看護師及び准看護師の勤務に対する助成
- 将来町内で医療機関等に勤務しようとする医学生等に対する奨学金

（2）医療機関支援

- 社会医療法人石州会が行う救急医療等対策等に対する助成
- 圏域の救急医療機関に対する負担

3. 地域福祉支援

重要業績
評価指標

要支援・要介護者数 3%減（令和3年度時点）

（1）担い手確保

- 将来町内で社会福祉士等の業務及びその他の業務に従事しようとするものに対する就学貸付

（2）経済的負担の軽減

- 要介護認定者等の在宅生活のための住宅改修の経費を一部給付
- 障がい者の在宅生活のための住宅改修の経費を一部助成

（3）高齢者支援

- ◎買い物不便対策の体制の確立
- ◎高齢者の自立を確保するため、各種生活支援サービスが受けられる住宅の整備を検討
- 各種検診の受診啓発を行うとともに、壮年期からの疾病の予防事業の推進や温泉を活用した健康増進の取り組みにより、健康で安心して暮らせるまちづくりを実現
- 高齢者への配食サービスの実施

4. 地域交流振興

重要業績
評価指標

吉賀町大学生交流事業補助金利用者 250人（7年間合計）

（1）交流による活性化

- 交流を核とした地域資源の活用支援

（2）既存施設の整備

- ◎既存のモニュメント公園（彫刻の道）等の再整備

5. スポーツ・文化振興対策

重要業績
評価指標

スポーツ施設の延べ利用者数 年間 13,000 人

(1) スポーツ施設整備

- ◎真田グラウンドの人工芝化及び設備改修
- ◎大野原運動公園のグラウンドゴルフ場及び蔵木グランドゴルフ場整備、活用

(2) スポーツ・文化交流の活性化

- スポーツを通じた都市住民との交流促進
- ◎キャンプ地誘致をはじめとする高校、大学等さまざまな団体のスポーツ施設利用促進

6. まちづくり・ひとづくり支援

重要業績
評価指標

新規の地域イベント 2 件（7 年間合計）

(1) まちづくり促進

- 自発的・自主的な、イベントや美化活動、地域資源を活かした活動への補助金
- ◎地区担当制に基づく集落台帳を作成
- ◎澄川喜一氏、森英恵氏の協力のもとに、芸術のまちを推進

(2) 地域を担うひとづくり

- 地域資源（自然、歴史、文化、伝統行事、産業等）を活用し、学校・家庭・地域が一体となり、ふるさとに誇りを持ち心豊かでたくましい子どもを育てる取り組みへの支援（サクラマスプロジェクト）